令和６年５月 29 日　教育委員会報告事項についての質疑応答（要旨）

（報　告）

ア　令和６年度浜松市放課後児童会登録児童数及び待機児童数について（教育総務課）

※学校・地域連携担当課長から資料に基づき説明

　質問なし

イ　令和５年度学校施設等の被害状況について（教育施設課・幼保運営課）

※教育施設課長から資料に基づき説明

（黒柳委員）車両による破損事故が多いが、高齢者によるアクセルの踏み間違いや脇見によるものではなく単独の事故か。

（教育施設課）脇見などではなく、ポールやフェンスにぶつかったというようなものである。

（安田委員）現在、防犯カメラがついているのは何校か。

（教育施設課）小中学校は 38 校で 27%の設置率となっている。幼稚園については全園で設置している。

（安田委員）毎年何台設置していくなど、全校設置に向けた整備計画はあるか。

（教育施設課）予算の関係もあるが、計画的に設置していきたいとの思いはある。カメラを設置することによって抑止に繋がるかということは、他の方法も考慮する中で効果を見極めていきたい。

（鈴木委員）不法侵入とは、敷地への侵入か。

（教育施設課）２件とも敷地への侵入であり、１件はガラスが割られたというもの、もう１件は落書きをされたというものである。

（鈴木委員）ここでの加害者とは、児童生徒を除いた加害者か。

（教育施設課）おっしゃる通り、児童生徒が与えた損害ではなく、第三者が与えた損害を集計したものである。

ウ　※取り下げ

エ　令和５年度問題行動、いじめ及び不登校の実態について（指導課・教育支援課）
※指導課長、教育支援課長から資料に基づき説明

（安田委員）校外まなびの教室の学校復帰率の高さに驚いた。継続してこれくらいの率が維持できたら素晴らしいと思う。

（田中委員）不登校児童生徒の出席扱い（グラフ３）について説明してほしい。

（指導課）現状、出席扱いにするかどうかは学校長の判断となっており数値としてはグラフ３の通りとなっている。今後、統一性の観点から、ガイドラインを用意して一定の基準を設けていきたいと考えている。

（田中委員）文部科学省でもオンラインで単位を取る方向について検討しているものと思う。高校への進級の問題もあるため、学校に行かずとも出席となるような対応について検討し、方策が決まったら報告いただきたい。

（安田委員）加害の児童生徒について、教育的な配慮をするのは当然だが、同時にどう指導していくのか、どういう方法が取れるのかという検討が今後必要になってくる。他都市の事例を参考に検討を進めてほしい。

（指導課）犯罪に近いような案件については、警察と連携をとって、加害の児童生徒への指導をお願いするということも行っている。ただ、出席停止などは、加害児童生徒の学ぶ権利の保障の観点からすると難しいところもあり、やはり全国的に見ても、いじめの懲罰的な意味合いで出席停止という措置を取ったという事例は承知していない。

（鈴木委員）問題行動で「窃盗」の件数が少ないと感じる。最近だとトレーディングカードの窃盗が流行っている。また「金銭」とあるが、恐喝のことか。

（指導課）恐喝だけでなく、友人との金銭トラブルも含まれる。

（鈴木委員）対応のところで遵法教室とあるが、全校生徒を対象に行っているものか。また、どのようなものか一度見てみたい。

（指導課）全校生徒ではなく、主に５年生を対象に令和３年度から実施している。

オ　令和６年度浜松市奨学生（継続貸与者）の選考結果について（教育支援課）
※教育支援課長から資料に基づき説明

（安田委員）貸与停止となった５人は、年度は異なるのか。

（教育支援課）年度は異なっている。この５人については、選考委員会の時点では書類未提出だったが、その後書類の提出があったため、追加で合格としている。

カ　浜松市博物館資料紛失に係る対策の進捗について（博物館）
※博物館長から資料に基づき説明

質問なし